

練馬区版総合戦略 重要業績評価指標（KPI）および
第 2 次 みどりの風吹くまちビジョン
アクションプラン [年度別取組計画]

令和元年度末の進捗状況

令和2年(2020年) 9月

練馬区

目次

練馬区版総合戦略

重要業績評価指標（KPI）の令和元年度末実績	・・・ 1
-------------------------------	-------

表の見方	・・・ 2
基本目標：子どもたちの笑顔輝くまち	・・・ 3
基本目標：高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち	・・・ 5
基本目標：安心を支える福祉と医療のまち	・・・ 6
基本目標：安全・快適、みどりあふれるまち	・・・ 8
基本目標：いきいきと心豊かに暮らせるまち	・・・ 11
基本目標：区民とともに区政を進める	・・・ 13

第2次みどりの風吹くまちビジョン

アクションプラン〔年度別取組計画〕令和元年度末の進捗状況	・・・ 15
-------------------------------------	--------

表の見方	・・・ 16
戦略計画1：子育てのかたちを選択できる社会の実現	・・・ 17
戦略計画2：子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実	・・・ 18
戦略計画3：すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり	・・・ 20
戦略計画4：夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成	・・・ 21
戦略計画5：高齢者地域包括ケアシステムの確立	・・・ 23
戦略計画6：元気高齢者の活躍と介護予防の推進	・・・ 25
戦略計画7：障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備	・・・ 26
戦略計画8：ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援	・・・ 27
戦略計画9：住み慣れた地域で安心して医療が受けられる体制の整備	・・・ 29
戦略計画10：みどりの風の中で、自ら健康づくりに取り組めるまちの実現	・・・ 29
戦略計画11：地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」	・・・ 30
戦略計画12：みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備	・・・ 33
戦略計画13：魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり	・・・ 39
戦略計画14：練馬のみどりを未来へつなぐ	・・・ 41
戦略計画15：住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ	・・・ 42
戦略計画16：地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり	・・・ 43
戦略計画17：生きた農と共存する都市農業のまち練馬	・・・ 44
戦略計画18：練馬ならではの都市文化を楽しめるまち	・・・ 45
戦略計画19：豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち	・・・ 47
戦略計画20：区民協働による住民自治の創造	・・・ 48
戦略計画21：窓口から区役所を変える	・・・ 49
参考：第2次みどりの風吹くまちビジョンとSDGs	・・・ 51

練馬区版総合戦略

重要業績評価指標（KPI）の令和元年度末実績

【表の見方】

計画1 子育てのかたちを選択できる社会の実現			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
外遊びの事業(おひさま びよびよ)の増設	8 か所	6 か所	1 か所開設 〔計7 か所〕
練馬こどもカフェの創 設	7 か所	検討	3 か所
認可保育所の増設	181所 (定員15,660人)	165所 (定員14,760人)	16所 (定員800人) 〔計181所〕

「目標値」欄

：原則として、令和3年度末の目標値を表示しています。それ以外の時点の目標年次とする場合は、時点を表示しています。

「現状値」欄

：原則として、平成30年度末の状況を記載しています。それ以外の時点の数値については、時点を表示しています。

「元年度末の実績」欄

：原則として、令和元年度末の実績を表示しています。それ以外の時点の数値については、時点を表示しています。

【重要業績評価指標（KPI）とは】

平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」により、地方公共団体は、国の長期ビジョン・総合戦略を踏まえて、地方版総合戦略を定めることが求められました。

練馬区では、「第2次みどりの風吹くまちビジョン」（平成31年3月策定）およびアクションプラン（令和元年6月策定）をあわせて、地方版総合戦略と位置付けています。地方版総合戦略に定めた取組について、PDCAサイクル（Plan・Do・Check・Action）を通じた効果検証を行うため、重要業績評価指標（KPI）を設定しました。

KPI = Key Performance Indicatorの略

基本目標： 子どもたちの笑顔輝くまち

計画1 子育てのかたちを選択できる社会の実現

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
外遊びの事業(おひさま びよびよ)の増設	8か所	6か所	1か所開設 〔計7か所〕
練馬こどもカフェの創設	7か所	検討	3か所
認可保育所の増設	181所 (定員15,660人)	165所 (定員14,760人)	16所 (定員800人) 〔計181所〕
練馬こども園の認定	25園	16園	4園認定 〔計20園認定〕
保育所等入所希望者受入 率	100%	99.9%	99.9%

計画2 子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
母子健康電子システムの 構築	運用開始	検討	検討
外遊びの事業(おひさま びよびよ) 相談員の配置	8か所		7か所配置
子ども家庭支援センター による支援体制の強化	増員	心理5人、保健師4人、福 祉等15人、非常勤相談員10 人	増員 (心理 2人) (福祉 3人)
都と共同で取り組む仕組 みの構築	都と共同で取り組む仕組 みの構築	協議開始	協議
子ども家庭支援センター の相談件数	現状値から増加	6,402件	6,589件

令和元年度に短時間型、低年齢型を創設した。標準型1園、短時間型1園、低年齢型2園(うち1園は標準型として既に認定している園と重複)を認定。実園数は19園。

計画3 すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
ねりっこクラブの実施	35校	13校	6校開始 〔計19校〕
夏休み居場所づくり事業の実施	11校	7校	10校
ねりっこ学童クラブ入会希望者受入率	100%	97.2% H31年4月1日現在	96.8% 令和2年4月1日現在

計画4 夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
電子黒板・教員用タブレットパソコン全校配備	全校配備	モデル校での活用状況の検証	全校配備
児童生徒用タブレットパソコンの配備	配備(一部)		検討
地域未来塾の実施	75校	70校	3校開始 〔計71校〕
特別な支援を要する不登校児童・生徒への支援の拡大	対象年齢拡大 定員拡大	実施 (小中学生対象)	対象年齢拡大 (18歳まで)
ICTを活用して指導できる教員の割合 (文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」により測定)	現状値から上昇	74.1%	81.3%

平成30年度に実施した学校のうち2校が未実施のため、実施校数は71校。

基本目標： 高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち

計画5 高齢者地域包括ケアシステムの確立			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
地域包括支援センターの移転	3か所移転		移転・設計・工事
担当区域見直し	担当区域見直し	調整・検討	実施
地域包括支援センターを中心とした在宅療養ネットワークの構築	充実	在宅療養ネットワーク事業の実施	充実
特別養護老人ホームの施設数	35施設 (定員2,550人分)	30施設 (定員2,173人分)	1施設 42人分 (定員2,215人) 〔計31施設〕
高齢者在宅生活あんしん事業の利用者数	年間2,100人	年間1,648人	年間1,808人
地域包括支援センターの相談件数	現状値より増加	年間165,157件	年間181,929件
計画6 元気高齢者の活躍と介護予防の推進			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
就職支援セミナー・職場体験の実施	実施		開始
はつらつシニア活躍応援塾の実施	実施		開始
街かどケアカフェ 常設型 出張所跡施設等での開設	5か所	3か所	1か所開設準備
街かどケアカフェ 出張型 コンビニ・薬局と連携した実施	実施・充実		開始
はつらつシニアクラブの参加者数	1,800人	1,414人	1,482人
はつらつシニアクラブの実施箇所数	18か所	16か所	2か所増 〔計18か所〕
要介護認定率 (第7期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)	21.9%以下 令和3年9月末	20.5% 平成30年9月末	21.0% 令和元年9月末

基本目標： 安心を支える福祉と医療のまち

計画7 障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
重度障害者グループホームの整備	27室程度	17室	〔工事〕
福祉施設等から一般就労した年間の障害者数	年間200人	年間226人	年間204人
就労定着支援事業の利用者数	年間160人	年間98人	年間140人
農福連携作業に携わる障害者施設数	9施設	6施設	1施設増 〔計7施設〕
計画8 ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
ひとり親家庭自立応援プロジェクトの充実	相談窓口への弁護士の配置出張相談の実施	プロジェクトの効果・検証	相談窓口への弁護士の配置出張相談の開始
生活保護受給世帯の子どもへの支援 (子ども支援員の体制強化)	強化	支援の実施	
中3勉強会の実施	年間80回	年間56回	年間80回
中3勉強会利用者の出席率	80%	80.4%	71.6%

計画9 住み慣れた地域で安心して医療が受けられる体制の整備

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
順天堂練馬病院の増床	490床(90床増)	400床	〔工事〕
練馬光が丘病院の移転・改築	457床(115床増) 令和4年度	342床	〔実施設計【完了】〕
高野台新病院の整備	218床		〔実施設計【完了】〕
練馬区医師会による (仮称)医療連携・在宅医療サポートセンターの開設	開設	関係機関調整	関係機関調整
人口10万人あたりの一般・療養病床数	人口10万人あたり 320床	人口10万人あたり 281床	人口10万人あたり 279床

計画10 みどりの風の中で、自ら健康づくりに取り組めるまちの実現

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
練馬健康管理アプリ「ねりまちてくてくサプリ」のコンテンツの充実	充実	検討	充実
「ねりまちてくてくサプリ」の登録人数	約20,000人	約8,300人	12,545人

基本目標： 安全・快適、みどりあふれるまち

計画11 地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
防災まちづくり推進地区における改善事業の実施	事業地区の指定(3地区程度)・周知・助成	制度の検討	構築 事業地区の指定(3地区)
一般緊急輸送道路沿道建築物等の耐震改修件数	19件	8件	5件 〔計13件〕
地域別防災マップの作成	3地域作成	1地域選定	1地域選定 1地域作成
防災訓練年間参加者数	75,000人	72,000人	70,976人
地域防災力の向上、安全・安心な地域づくりに対する満足評価	現状値から上昇	59.4%	59.4%
計画12 みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
都市計画道路の整備着手率	約7割	約6割	約6割
西武新宿線の立体化鉄道付属街路等の事業着手に向けた準備	事業着手に向けた準備	都市計画原案作成	都市計画案作成
みどりバスの再編等による公共交通空白地域改善の推進	再編(保谷・関町・大泉・南大泉ルート)	再編に向けた調整(保谷・大泉・南大泉ルート)	再編に向けた調整(保谷・大泉・南大泉ルート)
みどりバスの乗車人数	1,170,000人	1,147,154人	1,118,228人

計画13 魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
上石神井駅周辺地区のまちづくり	上石神井駅前のまちづくり 事業計画検討	事業手法検討	事業計画検討
大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり	(仮称)大泉学園町駅予定地 周辺のまちづくり 事業計画作成	整備計画検討	事業手法検討
石神井公園駅周辺地区のまちづくり	南口西地区市街地再開発事業 事業認可	合意形成活動	都市計画素案作成
「駅周辺のまちづくり」の施策 に対する満足評価	現状値から上昇	50%	54.1%

計画14 練馬のみどりを未来へつなぐ

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
稲荷山公園の拡張・整備 の着手	事業説明会の開催 測量	調査・検討	基本計画策定 事業スキーム策定
大泉井頭公園の拡張・整備 の着手	関係機関調整	調査・検討	基本計画策定 事業スキーム策定
特色ある公園等の整備	整備完了6か所		整備完了2か所
個人のみどりを地域で守る 新しい仕組みの構築	構築	事業内容の検討	モデル事業実施
「みどりの保全と創出」 に対する満足評価	現状値からの上昇	76%	76.9%

計画15 住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
避難拠点でのEV（電気自動車）等の活用	周知	災害時協力登録車制度の創設	周知
地域コージェネレーションの導入	導入2か所	基本協定締結1か所	導入準備 基本協定締結
「エネルギー政策の展開」の施策に対する満足評価	現状値からの上昇	46.4%	50.5%

基本目標： いきいきと心豊かに暮らせるまち

計画16 地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
創業セミナー・創業支援融資の実施	実施	実施	実施
学生向け創業セミナー等の実施	実施		中止
産学連携セミナーの実施	実施		産学連携セミナーの開始
福祉・生活関連産業への支援の実施	セミナー・個別相談会の実施、専門アドバイザー派遣の実施	セミナー・個別相談会の実施、専門アドバイザー派遣の開始	実施
練馬ビジネスサポートセンターを利用した創業者数	現状値から増加	53人	58人
計画17 生きた農と共存する都市農業のまち練馬			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
生産緑地貸借制度を活用した農地保全	農地斡旋の実施	農地所有者意向調査の実施・農地斡旋の仕組みの検討	農地斡旋の開始
認定農業者・都市型認定農業者の新規認定	31経営体	22経営体	4経営体 〔計26経営体〕
練馬果樹あるファームの開設支援	23件	6件	11件 〔計17件〕
認定農業者・都市型認定農業者のうち農業収入が増えた農業者数	現状値から増加	55人	62人

計画18 練馬ならではの都市文化を楽しめるまち

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
みどり豊かなまちと一体となった練馬独自の新しい美術館の創造	再整備基本構想に基づく設計	再整備基本構想の検討	構想の検討(委員会提言)
四季を感じられるイベントの開催	実施	実施	実施
「映像文化のまち構想」策定	策定	検討	素案の公表
四季を感じられるイベントの来場者数	30,000人	27,013人	27,323人

計画19 豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち

指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
公認陸上競技場「練馬総合運動場公園」での事業展開	公認記録会の実施	開園式典、記念イベント開催	公認記録会の開催
大泉さくら運動公園庭球場等整備	整備(完了)	設計	整備
大泉学園町希望が丘公園運動場(第 期)	整備(完了)	設計	設計 整備
ユニバーサルスポーツフェスティバルの地域展開	6か所	3か所	0か所 (計3か所)
ユニバーサルスポーツフェスティバル参加者数	現状値から増加	950人	911人

基本目標： 区民とともに区政を進める

計画20 区民協働による住民自治の創造			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
町会・自治会組織の加入促進活動の実施	実施	実施	実施
相談情報ひろばの増設	14か所	10か所	開設無し 〔計10か所〕
パワーアップカレッジねりまのリニューアル	実施	開始準備	開始準備
地域おこしプロジェクトの支援内容の充実	充実	検討	検討
リニューアル後のパワーアップカレッジねりまの卒業生が地域活動団体へ加入した割合	20%		〔つながるカレッジねりま公開プレ講座開催、令和2年度受講生決定、ポータルサイト開設〕
計画21 窓口から区役所を変える			
指標	目標値 (原則：令和3年度末)	現状値 (原則：平成30年度末)	令和元年度末の実績
乳幼児一時預かり事業インターネット予約システム運用開始	運用開始	検討	構築
窓口情報提供システムの拡大	17か所	1か所	16か所導入（練馬区民事務所ほか） 〔計17か所〕
FAQの職員活用	実施	検討	開始
申請書一括作成システムの導入	導入	検討	構築
電子申請利用件数(東京電子自治体共同運営サービス)	4,400件	3,465件	8,454件
窓口情報提供システムへのアクセス数	前年度実績から増加		140,915回 令和2年1月～3月

第 2 次みどりの風吹くまちビジョン

アクションプラン [年度別取組計画]

令和元年度末の進捗状況

【表の見方】

戦略計画1 子育てのかたちを選択できる社会の実現						
取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 家庭での子育て支援サービスの充実						
	子育てのひろば 計27か所	計26か所	1か所開設	1か所開設	A	1か所開設したが、1か所が閉室したため、総数は令和2年4月1日現在26か所のままになっている。閉室した1施設については、当初計画達成後の令和5年度に新規開設する予定。
	外遊びの事業 (おひさまびよびよ) 計8か所	計6か所	1か所開設	1か所開設	A	



令和3年度目標、平成30年度末の現況(ビジョン策定時点)

「第2次みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン[年度別取組計画]」に記載されている策定時の内容が記載されています。

令和元年度欄

当初計画

「第2次みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン[年度別取組計画]」に記載されている令和元年度を取組内容を記載しています。

実績

各事業の令和元年度末時点での取組実績を記載しています。

進捗状況欄

「進捗状況」欄の記号は、下記の内容を表しています。

- ▶ A+ …… 計画以上に進んだもの
- ▶ A …… 概ね計画どおりのもの
- ▶ B …… 遅れや修正が生じたもの

道路事業・まちづくりなど、短期での評価になじまない事業については、「*」を記載しています。

令和元年度に取組が無い事業については、「-」を記載しています。

子どもたちの笑顔輝くまち

戦略計画1 子育てのかたちを選択できる社会の実現

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 家庭での子育て支援サービスの充実						
	子育てのひろば 計27か所	計26か所	1か所開設	1か所開設	A	1か所開設したが、1か所が閉室したため、総数は令和2年4月1日現在26か所のままになっている。閉室した1施設については、当初計画達成後の令和5年度に新規開設する予定。
	外遊びの事業 (おひさまびよびよ) 計8か所	計6か所	1か所開設	1か所開設	A	
	発達に不安のある 親子のひろば事業 (のびのびひろば) (5か所) 月2回実施(4か所) 月1回または2回実施(1か所)	月1回実施(5か所)	月2回実施 (4か所) 月1回または 2回実施(1か所)	月2回実施 (4か所) 月1回または 2回実施(1か所)	A	
	憩いの森などを 活用した外遊び 事業の実施	検討	開始	開始	A	
	乳幼児一時預かり 事業 インターネット予約 システム運用開始	検討	構築	構築	A	
	ファミリーサポート 事業 軽度障害児受け入れ 実施	検討	検討	検討	A	
	2 練馬こどもカフェの創設					
	練馬こどもカフェ 7か所	検討	3か所	3か所	A	
3 保育所待機児童の解消						
(1) 保育所の拡充	【認可保育所】 計181所 (定員15,660人)	計165所 (定員14,760人)	16所 (定員630人)	16所 (定員800人)	A	
	東大泉保育園の 改築による定員 増	工事	工事	工事(完了)	A	
	上石神井第三保 育園の改築によ る定員増	実施設計	工事	中断中	*	都営住宅工事の事情により当初計画の遅れが生じている。
(2) 安心して保 育サービスを利用 できる仕組み づくり	保育サービスを 安心して利用できる 仕組みづくり	検討	検討	検討	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
(3)多様な保育サービスの充実	延長保育 計150所	計115か所	16か所開始	15か所開始	A	実施していない1園は分園である。乳児のみを受け入れる分園では延長保育を実施していないが、幼児を受け入れる本園では延長保育を実施しているため、需要見込みに対する保育サービスの充実は図られている。
	病児・病後児保育 計8か所	計7か所	1か所開始	1か所開始	A	

4 「練馬こども園」の充実

	練馬こども園 計25園	計16園	3園認定	4園認定	A+	令和元年度に短時間型、低年齢型を創設した。標準型1園、短時間型1園、低年齢型2園(うち1園は標準型として既に認定している園と重複)を認定。実園数は19園。
	区立幼稚園3園の練馬こども園化	検討	検討	検討	A	

5 教育・保育サービスのあり方の検討

	教育・保育サービスのあり方の検討・公表		検討	作成・公表	A+	令和元年度中に、「保育の歴史とこれから」の公表まで行ったため。
--	---------------------	--	----	-------	----	---------------------------------

6 ICTを活用した子育て関連サービスの拡充

	保育園入園申請のオンライン手続の導入検討	検討	検討	検討	A	
	乳幼児一時預かり事業【戦略計画1-1の再掲】 インターネット予約システム運用開始	検討	構築	構築	A (再掲)	

戦略計画2 子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 母子健康電子システムの構築						
	母子健康電子システムの構築	検討	検討	検討	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
2 乳幼児親子の身近な相談場所の拡充						
	外遊びの事業 (おひさまびよびよ) (8か所) 相談員の配置 8か所		7か所配置	7か所配置	A	
	児童館学童クラブ 室を活用した子育て ひろば(にここ) (17か所) 相談員の配置 4か所		検討	検討	A	
	発達に不安のある 親子のひろば事業 (のびのびひろば) (5か所)【戦略計 画1-1の再掲】 月2回実施(4か所) 月1回または2回実 施(1か所)	月1回実施(5か所)	月2回実施 (4か所) 月1回または 2回実施(1か所)	月2回実施 (4か所) 月1回または 2回実施(1か所)	A (再掲)	
3 成長発達に関わる相談サポート体制の充実						
	妊娠・子育て相談 員による全ての妊婦 との面談・支援の実 施	実施	実施	実施	A	
	保健相談所への 心理相談員の配置				-	令和2年度 保健相談所に心理相談員 4名配置
4 新しい児童相談体制の構築						
	子ども家庭支援センターによる支援体制の充実					
	支援体制の強化	心理 5人 保健師 4人 福祉等 15人 非常勤相談員 10人	増員	増員 (心理 2人) (福祉 3人)	A	
	スーパーバイザー の配置(弁護士・ 児童相談所OB 等)		配置	配置 (弁護士 延24人) (児童相談所OB 延22人)	A	
	都児童相談センターとの連携の強化					
	都との協議 都と共同で取り組 む仕組みの構築	協議開始	協議	協議	A	
	都児童相談 センターへの 区職員派遣 拡大	課長級 (月2回1人) 一般職員 (通年1人)	課長級 (通年1人) (月2回1人) 一般職員 (通年1人)	課長級 (通年1人) (月2回1人) 一般職員 (通年2人)	A+	都児童相談センターとの 連携強化を目的に、7月か ら一般職員の派遣人数を 増やしたため。
	要支援家庭を 対象とした ショートステイ事 業 受入対象年齢 の拡大	拡大の検討 (対象年齢 2-12歳)	拡大 (対象年齢 0-12歳)	拡大 (対象年齢 0-12歳)	A	
	協力家庭による ショートステイ事 業の実施		検討	検討	A	
	都児童相談 センターからの 事案送致・ 指導措置委託	協議	開始	開始	A	

戦略計画3 すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 ねりっこクラブの全小学校での実施						
	ねりっこクラブの実施 計35校	計13校	6校 開始	6校開始	A	
2 夏休み居場所づくり事業の拡充						
	夏休み居場所づくり 事業の実施 11校	7校	10校	10校	A	
3 民間学童保育の拡充						
	運営費助成 13施設	10施設	3施設	3施設	A	
4 キッズ安心メールの利用拡大						
	キッズ安心メールの 学校応援団ひろば 室への設置 計20校設置		準備	準備	A	
関連する事業						
1 児童館の機能の見直し						
	中学生・高校生 向け事業を実施	実施	充実	充実	A	
	児童館学童クラブ 室を活用した子育て ひろば(にここ) (17か所)【戦略計 画2-2の再掲】 相談員の配置 4か所		検討	検討	A (再掲)	
	出前児童館の実施	検討	実施	実施	A	

戦略計画4 夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 教育の質の向上						
(1) ICT環境の整備の推進	電子黒板・教員用 タブレットパソコン 全校配備	モデル校での活用 状況の検証	全校配備	全校配備	A	
	児童生徒用タブレット パソコンの配備		検討	検討		
(2) 学校図書館の機能強化	学校図書館の情報化 計98校 / 98校	計37校	31校	31校	A	
	学校図書館への 人的配置 支援の充実に向け た検討	検討	検討	検討	A	
(3) 小中学校校舎等の改築の推進	大泉東小学校 工事(完了)	工事	工事	工事 (完了)	A	
	下石神井小学校 工事(完了)	工事	工事	工事	A	
	石神井小学校 工事(完了)	工事	工事	工事	A	
	大泉西中学校 工事(完了)	工事	工事	工事	A	
	関町北小学校 工事(一部)	実施設計	実施設計 工事	実施設計 工事	A	
	上石神井北 小学校 工事(一部)		基本設計	基本設計	A	
	旭丘小学校 旭丘中学校 実施設計					
	令和3年度に改築 に着手する学校 (2校程度) 基本設計					
(4) 小中学校体育館の空調設備の整備	設置完了 計43校	計2校	14校	14校	A	
(5) 小中学校トイレの改修	工事完了 計24校	計6校	6校	6校	A	
(6) 区立学校の適正配置	適正配置の推進	検討	新たな基本 方針の策定	新たな基本 方針の検討	B	学校施設管理基本計画・ 実施計画で示した適正配 置および改築等の考え方 に基づき、引き続き検討を 進めているため。
(7) 小中一貫教育の推進	研究発表グループ の指定による小中 一貫教育の研究・ 実践	7グループ指定	7グループ指定	7グループ指定	A	
	2校目の小中一貫 教育校の設置に向 けた調整・実施設計	調整	調整	調整	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
(8)次期学習指導要領に対応した教員研修の実施	次期学習指導要領に対応した研修の実施	検討	実施	実施	A	
(9)教員の働き方改革	部活動の在り方に関する方針に基づく取組の実施	検討	方針の策定	方針の策定	A	
	学校徴収金管理システムの運用	構築	運用	運用	A	
(10)英語指導の充実	小学校3・4年生へのALT配置	検討	準備	準備	A	

2 家庭や地域と連携した教育の推進

学校・地域連携事業						
(1)地域と連携した教育活動や体験活動の推進	地域未来塾 実施 75校	70校	5校開始	3校開始	B	実施を新たに希望する学校が想定よりも少なかったため、平成30年度に実施した学校のうち2校が未実施のため、実施校数は71校。
	学校サポーター登録制度(人材バンク) 登録拡大	個人登録 320人 団体登録 11団体	拡大	拡大 (新規登録 個人登録 44人 団体登録 2団体)	A	
	学校外の体験学習やボランティア活動の参加促進	促進	促進	促進	A	
(2)校外学習の見直し・充実	校外学習の実施方法の見直し・充実	検討	検討	検討	A	
(3)学校安全対策の拡充	指針を踏まえた対策の実施	指針策定	実施	実施	A	

3 支援が必要な子どもたちへの取組の充実

(1)不登校対策の充実	タブレットパソコンを活用した学習支援 計15校	5校	5校配備	5校配備	A	
	特別な支援を要する不登校児童・生徒への支援の拡大	実施 (小中学生対象)	対象年齢拡大 (18歳まで)	対象年齢拡大 (18歳まで)	A	
	適応指導教室の増設・検証	実施 (学校教育支援センター)	増設 (関町地域)	出前適応指導教室実施	B	十分な広さ・間取りの施設は民間も含めて関町地域には見つからなかったため、関町リサイクルセンターと関教育相談室を活用し、各週1回2時間の出前適応指導教室を開催した。
(2)学習支援事業「中3勉強会」の実施	居場所支援事業実施場所の拡大 計2か所	実施 (1か所)	検討	検討	A	
	中3勉強会(7か所) 年間80回	年間56回	年間80回	年間80回	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
4 小学校就学前からの切れ目のない取組を展開						
(1) 幼保小連携の推進	「ねりま接続プログラム」を活用した取組の実施	プログラムの策定	開始	開始	A	
(2) 家庭教育支援事業の実施	家庭教育支援事業の実施	「検討会議」の設置 事業実施に向けた検討	実施	実施	A	

高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち

戦略計画5 高齢者地域包括ケアシステムの確立

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 地域包括支援センターの移転・増設						
	地域包括支援センターの移転・増設・担当区域見直し					
	3か所移転			移転・設計・工事	A	
	開設準備 2か所	計25か所	調整	調整	A	
	担当区域見直し	調整・検討	担当区域見直し (大泉圏域)	実施	A	大泉学園地域包括支援センターの担当区域の一部を大泉地域包括支援センターに変更した。
	ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業の強化					
	新たな高齢者実態調査の実施	調査の見直し	実施	実施	A	
訪問支援員による戸別訪問支援の強化	実施	実施	実施	A		
2 地域ごとの在宅療養ネットワークの構築						
	地域包括支援センターを中心とした在宅療養ネットワークの構築	在宅療養ネットワーク事業の実施	充実	充実	A	
	主任ケアマネジャーによる地域同行型研修の実施	実施	充実	充実	A	
3 特別養護老人ホーム等の施設整備・在宅サービスの充実						
(1) 特別養護老人ホーム等の施設の整備	特別養護老人ホーム 計35施設 (定員2,550人分)	計30施設 (定員2,173人分)	3施設 120人分 (定員2,293人)	1施設 42人分 (定員2,215人)	B	入札不調等により、工期の遅れが発生しているものの、令和3年度目標数以上の整備案件を既に確保している。
	短期入所生活介護 (ショートステイ) 計40施設 (定員416人分)	計35施設 (定員366人分)	3施設 13人分 (定員379人)	1施設 2人分 (定員368人)	B	入札不調等により、工期の遅れが発生しているものの、令和3年度目標数以上の整備案件を既に確保している。
	都市型軽費老人ホーム 計15施設 (定員290人)	計10施設 (定員190人)	1施設 20人分 (定員210人)	整備なし (定員190人)	B	東京都との変更協議等により、工期の遅れが発生しているものの、令和3年度目標数以上の整備案件を既に確保している。

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
(2)在宅サービスの充実	グループホーム 計38か所 (定員653人分)	計34か所 (定員581人)	1か所 18人分 (定員599人)	整備なし (定員581人)	B	事業者の選定から建設まで時間を要するため開設には至っていないものの、令和3年度目標数以上の整備案件を既に確保している。
	定期巡回・随時 対応型訪問介護看護 計14か所	計13か所			-	
	看護小規模多機能型 居宅介護 計7か所 (203人分)	計2か所 (定員58人分)	2か所 58人分 (定員116人)	1か所 29人分 (定員87人)	B	事業者の選定から建設まで時間を要するため開設には至っていないものの、令和3年度目標数以上の整備案件を既に確保している。
(3)高齢者在宅生活あんしん事業	利用者 年間2,100人	年間1,648人	年間1,700人	年間1,808人	A+	ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業等での事業周知によるため。
(4)住まい確保支援事業の実施	住まい確保支援事業の実施	検討	開始	開始	A	
	居住支援協議会の設置	調整	設置	設置	A	
(5)介護人材の確保・育成・定着に向けて	介護人材の確保支援					
	練馬介護人材育成・研修センター 研修・人材確保・相談支援の利用者 年間 3,500人	年間3,017人	年間3,500人	年間3,130人	B	研修事業の受講者数は当初計画よりも増加した。一方、人材確保事業および相談支援事業の利用者数は当初の見込みを下回り、結果として全体の利用者数が見込みを下回ったため。
	区独自の介護従事者養成研修の修了者 年間 210人	年間212人	年間 210人	年間175人	B	一部研修について講座時間数、開催日数が増加したことが、研修の申込者数に影響したため。
	元気高齢者による介護施設業務補助事業 対象施設の拡大【戦略計画6-3の再掲】	実施	対象施設の拡大	対象施設の拡大	A (再掲)	
	介護人材の育成支援					
	資格助成の利用者 年間 300人	年間275人	年間 300人	年間346人	A+	区ホームページや区内介護事業所等の協力等による事業周知によるため。
	外国人介護職員向け支援	事例紹介セミナーの開催	日本語研修のモデル実施	日本語研修のモデル実施	A	
介護人材の定着支援						
ICT機器等の導入支援		開始	開始	A		
4 コンビニと協働した地域の見守り体制の強化						
	「N-impro」を活用した認知症対応研修・体験会の実施	モデル事業実施・検証 ニンプロ講師の養成	実施	実施	A	

戦略計画6 元気高齢者の活躍と介護予防の推進

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 高齢者の就業機会を拡大「シニアセカンドキャリア応援プロジェクト」の実施						
	就職支援セミナー・ 職場体験の実施		開始	開始	A	
	起業・創業セミナー の実施				-	
2 高齢者の活動を後押し「はつらつシニア応援プロジェクト」の実施						
	はつらつシニア 活躍応援塾の実施		開始	開始	A	
3 高齢者の福祉分野での活躍を推進						
	元気高齢者による 介護施設業務補助 事業 対象施設の拡大	実施	対象施設 の拡大	対象施設 の拡大	A	
4 区独自の介護予防事業の拡充						
(1)街かどケア カフェの充実	常設型 出張所跡施設等 での開設 計5か所	計3か所		1か所開設 準備	A	街かどケアカフェさくらの 開設準備(令和2年4月1 日開設)
	地域サロン型 計30か所	計14か所	6か所増	7か所増	A	平成30年度末、既存1か 所が事業終了。令和元 年度に7か所増により、累計 20か所
	出張型					
	区立施設等での 実施 コンビニ・薬局と 連携した実施	実施	充実	充実	A	
(2)はつらつシ ニアクラブの充 実	参加者数 年間1,800人 / 36回	年間1,414人 / 32回	年間1,800人 / 36回	年間1,482人 / 34回	B	高齢者対象のため、当 日の体調や天候により急 な欠席があることに加え、 新型コロナウイルス感染症 拡大防止により2回中 止した(申込件数は1,969 件)。
	実施箇所数 計18か所	計16か所	2か所増	2か所増	A	
(3)主体的に取り 組む介護予防	練馬区オリジナル 三体操 普及拡大		拡大	拡大	A	
	リハビリ専門職 派遣 年間65団体	年間59団体	年間65団体	年間63団体	B	派遣決定団体は65団体 だったが、新型コロナウイ ルス感染症拡大防止のた め2団体が実施を延期し た。
	介護予防・生活支 援サービス 利用者数 年間5,700人	年間5,067人	年間5,340人	年間4,922人	B	新型コロナウイルス感染 症拡大防止により一部事 業を中止したため利用者 が減少した。

安心を支える福祉と医療のまち

戦略計画7 障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考	
			当初計画	実績			
1 重度障害者への支援の充実							
(1)住まいの確保	重度障害者グループホームの整備 計27室程度	計17室				A	
	北町2丁目(都有地)での整備 開設(10室程度)	整備事業者選定	工事	工事		A	
	石神井町福祉園 用地での整備 運営事業者選定	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整		A	
	中軽度障害者グループホームの整備 計537室	計447室	30室	48室		A	整備数の目標は達成したものの、当初想定していなかった建物の老朽化等による移転・閉所が相次ぎ、純増数が28室であったため、総合的に評価した。
(2)医療的ケアに対応した ショートステイの整備	開設準備		関係機関調整	関係機関調整		A	
(3)日中活動の場・福祉園の整備	工事	基本設計 実施設計(一部)	実施設計	基本設計 実施設計(一部)		B	都との国庫補助協議に時間を要したため。
(4)放課後等デイサービス事業所への支援	補助制度の開始		検討	検討		A	
(5)居宅訪問型児童発達支援事業の開始	居宅訪問型児童発達支援事業の開始	検討	実施準備	実施準備		A	令和2年4月から事業開始
(6)地域生活支援拠点の整備	障害者地域生活支援センターを中心とした「面的整備型」	開始	検証・充実	検証・充実		A	
	重度障害者グループホームと一体となった「多機能拠点整備型」						
	北町2丁目(都有地)での整備 開設(10室程度) 【戦略計画7-1の再掲】	整備事業者選定	工事	工事		A (再掲)	
石神井町福祉園 用地での整備 運営事業者選定 【戦略計画7-1の再掲】	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整		A (再掲)		

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
2 就労支援の充実・農福連携の推進						
	福祉施設等から一般就労した年間の障害者数 年間 200人	年間 226人	年間 200人	年間 204人	A	
	就労定着支援事業の利用者数 年間 160人	年間 98人	年間 100人	年間140人	A+	当初の想定より早く区内外の就労定着支援事業所の事業指定が進み、利用促進につながった。
	農福連携の推進					
	農福連携作業に携わる障害者施設数 計9施設	計6施設	1施設増	1施設増	A	
	福祉連携農園の検討		検討	検討	A	
3 障害特性に応じたきめ細やかな対応						
(1)精神障害者等への支援の充実	相談体制の充実					
	訪問支援体制の強化	地域精神保健相談員 4名配置	体制強化	体制強化	A	令和2年度保健相談所に地域精神保健相談員4名増員(計8名配置)
	社会参加と地域理解の促進					
	居場所に関する情報の発信		検討	検討	A	
(2)高齢化等に対応するための福祉作業所等の機能の見直し	福祉作業所 機能見直しの検討	検討	検討	方針決定	A+	令和2年3月策定の公共施設等総合管理計画実施計画において、民営化の際に、利用者の高齢化や障害の重度化に対応するため機能を拡充し、生活介護事業を開始することとした。
	障害者地域活動支援センター(谷原フレンド) 生活介護事業への機能転換	方針決定	調整	調整	A	
(3)保育所等訪問支援事業の開始	保育所等訪問支援事業の開始	検討	実施準備	実施準備	A	令和2年4月から事業開始
戦略計画8 ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援						
取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 ひとり親家庭自立応援プロジェクトの充実						
	相談窓口への弁護士の配置	プロジェクトの効果・検証	相談窓口への弁護士の配置	相談窓口への弁護士の配置	A	
	出張相談の開始		出張相談の開始	出張相談の開始	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
2 生活保護受給世帯等の子どもに対する支援の充実						
(1)生活保護受給世帯の子どもへの支援の充実	子ども支援員の体制強化	支援の実施			-	
	支援拠点計2か所	1か所	調整	調整	A	
(2)学習支援事業「中3勉強会」の実施【戦略計画4-15の再掲】	中3勉強会(7か所)年間80回	年間56回	年間80回	年間80回	A(再掲)	
3 生活保護受給世帯に対する自立支援の充実						
	生活保護受給世帯に対する自立支援の充実	実施	充実	充実	A	
4 新しい児童相談体制の構築【戦略計画2-4の再掲】						
	子ども家庭支援センターによる支援体制の充実					
	支援体制の強化	心理 5人 保健師 4人 福祉等 15人 非常勤相談員 10人	増員	増員 (心理 2人) (福祉 3人)	A (再掲)	
	スーパーバイザーの配置(弁護士・児童相談所OB等)		配置	配置 (弁護士 延24人) (児童相談所OB 延22人)	A (再掲)	
	都児童相談センターとの連携の強化					
	都との協議 都と共同で取り組む仕組みの構築	協議開始	協議	協議	A (再掲)	
	都児童相談センターへの区職員派遣 拡大	課長級 (月2回1人) 一般職員 (通年1人)	課長級 (通年1人) (月2回1人) 一般職員 (通年1人)	課長級 (通年1人) (月2回1人) 一般職員 (通年2人)	A+ (再掲)	都児童相談センターとの連携強化を目的に、7月から一般職員の派遣人数を増やしたため。
	要支援家庭を対象としたショートステイ事業 受入対象年齢の拡大	拡大の検討 (対象年齢 2-12歳)	拡大 (対象年齢 0-12歳)	拡大 (対象年齢 0-12歳)	A (再掲)	
	協力家庭によるショートステイ事業の実施		検討	検討	A (再掲)	
都児童相談センターからの事案送致・指導措置委託	協議	開始	開始	A (再掲)		

戦略計画9 住み慣れた地域で安心して医療が受けられる体制の整備

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 病床の確保						
(1)順天堂練馬病院の増床と医療機能の拡充	病床数 計490床	400床			-	
	外来棟 建設工事(完了)	建設工事	工事	工事(完了)	A	
	既存病棟 改修工事(完了)	実施設計	工事	工事	A	
	練馬高野台 いきいき歩道橋 改修工事(完了)		設計・工事	工事(完了)	A	
	整備費補助				-	
	救急医療および災害時医療に関する関係機関との調整	調整	調整	調整	A	
(2)練馬光が丘病院の移転・改築	工事(完了)	基本設計	実施設計	実施設計(完了)	A	
	整備費補助	整備費補助	整備費補助	整備費補助	A	
	病院用地整備工事(完了)	設計	工事	工事(完了)	A	
(3)高野台新病院の整備	開院	基本設計	実施設計	実施設計(完了)	A	
	設備整備費補助 利子補給				-	
(4)新たな病院整備の検討	関係機関との調整・協議	調整・協議	調整・協議	調整・協議	A	

2 在宅医療の提供体制の充実

	練馬区医師会による(仮称)医療連携・在宅医療サポートセンターの開設	関係機関調整	関係機関調整	関係機関調整	A	
--	-----------------------------------	--------	--------	--------	---	--

戦略計画10 みどりの風の中で、自ら健康づくりに取り組めるまちの実現

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 地域で取り組む健康づくり						
(1)みどり健康プロジェクトの実施	練馬健康管理アプリ「ねりまちてくてくサプリ」					
	コンテンツの充実	検討	充実	充実	A	
	登録人数 20,000人	登録人数 8,300人	13,000人	12,545人	B	新型コロナウイルス感染症により、事業者や地域団体へのアプリ周知啓発チラシの配布を控えたため。
	健康キャンペーンの充実	実施	充実	充実	A	
(2)子どもの頃からの健康教育	がん予防教室の実施	検討	教材の作成・配布	教材の作成・配布	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
(3)こころの健康を支える地域づくり	自殺対策の推進					
	ゲートキーパー養成講座計21回実施(受講者延べ1,050人)	年4回実施(受講者160人)	年7回実施(受講者350人)	年7回実施(受講者295人)	B	新型コロナウイルス感染症により、受講の辞退があったため。
	相談窓口案内の周知	検討	作成・周知	作成・周知	A	
	支援者向け自殺予防の手引きの周知	検討	検討	検討	A	
2 健診(検診)環境の充実						
	受診環境の整備	関係機関調整	関係機関調整 胃内視鏡検査受診場所の拡大	関係機関調整 胃内視鏡検査受診場所の拡大(43か所)	A	

安全・快適、みどりあふれるまち

戦略計画11 地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 地震・火災に対する防災まちづくりの推進						
(1)木造住宅密集地域における道路・公園の整備と不燃化の推進	江古田北部地区 道路整備 21工区 公園整備 9か所 密集事業終了 地区計画決定(一部)	道路整備 21工区 公園整備 9か所 密集事業終了 地区計画決定(一部)	地区計画決定(一部)	地区計画決定(一部)	A	
	北町地区 道路整備 12工区 公園整備 6か所 密集事業終了 地区計画決定(一部)	道路整備 11工区 公園整備 6か所 地区計画決定(一部)	1工区 密集事業終了 地区計画決定(一部)	1工区 密集事業終了 地区計画決定(一部)	A	
	貫井・富士見台地区 地区計画決定(一部)	地区計画決定(一部)	次期地区計画 区域の選定	次期地区計画 区域の選定	A	
	新防火規制区域の指定(一部)	指定(一部)	次期新防火規制 区域の選定	次期新防火規制 区域の選定		
	新規路線用地買収(一部)	新規路線選定	測量	測量		
	A路線用地買収(一部)	用地買収	用地買収	用地買収		
富士見台駅周辺交通施設 関係機関調整	検討	検討	検討			
桜台地区 整備計画の策定 重点地区まちづくり 計画決定	新規地区選定	まちづくり協議会の 設立 重点地区まちづくり 計画の検討 区域の指定	まちづくり協議会の 準備会の開催 重点地区まちづくり 計画の検討 区域の指定	B	合意形成活動を丁寧に進めているため。	
(2)防災まちづくり推進地区における改善事業	地区における改善事業の実施 新防火規制区域の指定	制度の検討	構築 事業地区の指定 (3地区程度)	構築 事業地区の指定 (3地区)	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
(3)建築物の耐震化	特定緊急輸送道路沿道の耐震化助成 耐震化計画 98件/101件	耐震診断 平成27年度に 101件全て終了 97/101件 実施設計 69件 耐震性有と判明 15件 除却 13件	1件 実施設計 1件	2件 実施設計 2件	A	
	耐震化済 77件/101件	74/101件	3件	6件	A+	区の啓発活動の継続により、施主の理解が得られたため。
	一般緊急輸送道路沿道、災害時医療機関等、その他の耐震助成 耐震診断 計129件 実施設計 計 39件 耐震改修 計 19件	計 91件 計 14件 計 8件	18件 12件 5件	21件 8件 5件	A	
	住宅の耐震助成 耐震診断 計915件 実施設計 計897件 耐震改修 計743件	計765件 計747件 計593件	50件 50件 50件	31件 24件 21件	B	施主側で工事等を行うための資金を確保できないなどの問題があったため。
(4)都市計画道路事業に合わせた延焼遮断帯の形成	防火地域の指定 (8地区)	指定 (放射7号線沿道、環状7号線沿道、補助134号線沿道等)	指定(2地区)	0地区	B	合意形成活動を丁寧に進めているため。

2 水害への対策（河川、下水道の早期整備および流域対策の強化）

	雨水貯留浸透施設設置 計25地区	計22地区	3地区工事	3地区工事	A	
	水位観測カメラ設置 計14台	計13台	1台	1台	A	
	総合治水計画の改定と対策の実施		調査	調査	A	
	河川改修の早期実施・下水道幹線施設整備等の東京都への要請	改修率 石神井川 79% 白子川 25%	要請	要請	A	

3 地域危険度の啓発とリスクに即した訓練

(1)地域別防災マップの作成・訓練の実施	3地域作成	1地域選定	1地域選定 1地域作成	1地域選定 1地域作成	A	
(2)避難行動要支援者の安否確認体制の強化	避難行動要支援者名簿を活用した訓練の実施	現況調査の実施	新たな名簿の配備	新たな名簿の配備	A	
		新たな名簿の作成	新たな名簿を活用した訓練の検討	新たな名簿を活用した訓練の試行実施	A	モデル地区による安否確認訓練の試行実施

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
(3)防災の手引および浸水ハザードマップの全面改定・全戸配布	全面改定 全戸配布		改定 配布	改定 配布	A	
(4)備蓄物資の充実および倉庫整備	備蓄物資拡充 (避難拠点用)				A	
	食料等 計118,300人分	計93,100人分	8,400人分	8,400人分	A	
	組立トイレ 計103台配備	計35台	35台	35台	A	
	備蓄物資拡充 (帰宅困難者用)				A	
	食料等 計84,880人分	計42,880人分	14,000人分	14,000人分	A	
	備蓄倉庫整備				A	
	計21か所	計19か所	1か所	1か所	A	
(5)ねりま防災カレッジ事業の充実	年間受講者数				B	令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、カリキュラム4件が中止となった。
	1,005人	970人	1,005人	646人	A	
	VRプログラムの実施・充実		導入準備	導入準備	A	
(6)区民防災組織等の取組支援	防災訓練年間参加者数				B	台風19号の影響により、防災訓練14件が中止となった。また、令和2年2月以降については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、防災訓練32件が中止となった。
	75,000人	72,000人	73,000人	70,976人	A	

関連する事業

1 都市インフラの計画的更新

	橋梁					
	調査 計25橋 設計 計20橋 工事 計24橋	調査 計15橋 設計 計9橋 工事 計9橋	4橋 3橋 5橋	4橋 3橋 6橋	A	
	公園遊具				A	
	更新 計227基	計170基	3基	3基	A	
	公園灯・街路灯の省エネ化				A+	灯具交換や灯柱建替ではなく、ランプ交換のみで完了した箇所が多かったため。 既存照明器具の修繕部品が生産中止により調達に困難となり、計画を前倒したため。
	公園灯 省エネ化 計1,847基	計1,127基	240基	278基	A+	
	街路灯 省エネ化 計19,008基	計10,308基	2,900基	4772基	A+	
道路陥没対策				A		
樹取付管取替 計7,878か所 延長37,900m	計4,878か所 延長22,900m	1,000か所 延長5,000m	983か所 延長4,300m	A		
路面下空洞調査 延長約198km	路面下空洞調査 (延長約28km) 対象路線:緊急輸送道路	効率的な手法の検討	効率的な手法の検討	A		
	道路占用企業者との路面下空洞復旧に関する覚書締結					

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
2 地域の安全対策の推進						
	地域防犯防火連携組織 計39組織	計30組織	3組織設立	設立無し	B	各小学校およびPTA、小学校PTA連合会に対し、働きかけを行ったが、設立には至らなかった。
	防犯カメラ設置 新規160台(計887台) 更新60台	計727台	新規60台 更新20台	新規156台 更新0台	A+	都の補助率上乘せの最終年度であり、需要が大きかったため。

戦略計画12 みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 都市計画道路の整備						
(1)都市計画道路の整備(区施行)	都市計画道路の整備 事業完了 1区間 事業中 7区間					
	補助132号線 期 整備(一部)	設計 整備	設計 整備	設計 整備	*	
	補助135号線および補助232号線 (大泉学園駅南側地区) 地区計画素案検討	有識者委員会による検討	有識者委員会による検討・提言 取組方針策定 重点地区まちづくり計画の検討区域の指定	有識者委員会による検討・提言	*	
	事業認可(一部) 合意形成活動 生活再建支援事業	合意形成活動	合意形成活動 測量 生活再建支援事業	合意形成活動 生活再建支援事業		
	補助135号線 (補助156号線交差部) 事業認可 用地買収(一部)	測量 設計	関係機関調整 設計	関係機関調整 設計	*	
	補助135号線 (補助230号線交差部) 事業認可 用地買収(一部)	測量 設計	事業認可 用地買収	事業認可申請 設計	*	
	補助135号線 (青梅街道～新青梅街道間) 関係機関調整		関係機関調整	関係機関調整	*	
	補助230号線 (青梅街道～新青梅街道間) 設計		関係機関調整	関係機関調整	*	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
(1)都市計画道路 の整備(区施行) (続き)	補助232号線 -2期 事業認可	関係機関調整	測量	測量	*	
	補助235号線 整備(完了)	設計 整備	設計 整備	設計 整備	*	
	区画街路1号線 整備(一部)	設計 整備	設計	設計	*	
	外環の2(上石 神井駅交通広場) 用地買収(一部)	事業認可 設計	用地買収		*	令和元年度は、用地買 収にかかる物件調査・補 償金積算、および関係機 関との調整を実施した。
(2)外環道およ び外環の2沿道 地区のまちづく りと外環の2の 整備促進	沿道のまちづくり					
	<外環道大泉 JCT周辺地区> 地区計画原案 作成	事業手法検討	地区計画素案 検討	地区計画素案 検討	A	
	<外環の2沿道 (新青梅街道～前 原交差点間)> 重点地区まちづ くり計画の検討区 域の指定	まちづくり方針の 検討	まちづくり方針の 策定	まちづくり方針の 策定	A	
	<外環の2沿道 (上石神井駅周 辺)>【戦略計画 13-1の再掲】 地区計画決定	事業手法検討	地区計画素案 作成	地区計画素案 検討	B (再掲)	計画策定を丁寧に進め ているため。
	<外環道青梅街 道IC周辺地区> 重点地区まちづ くり計画決定	重点地区まちづくり計 画の手続きの準備	まちづくり協議会 の設立 重点地区まちづ くり計画の検討区 域の指定	重点地区まちづ くり計画の手続き の準備	B	地域の方々とのまちづく りの検討を進める協議が 整わないため。
	外環の2整備促進					
	<千川通り～新 青梅街道間> 整備促進	事業認可(都)	整備促進	整備促進	A	
<その他区間> 事業化に向けた 働きかけ	働きかけ	働きかけ	働きかけ	A		

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
(3)放射35号線沿道地区および放射36号線沿道地区のまちづくり	放射35号線沿道					
	<沿道周辺北町地区> 地区計画決定	地区計画素案作成	地区計画原案作成	地区計画原案作成	A	
	<平和台駅周辺地区> 地区計画決定(一部)	地区計画決定(一部)	地区計画素案作成(一部)	地区計画素案検討(一部)	B	合意形成活動を丁寧に進めているため。
	<環状8号線横断地下通路> 整備(一部)	関係機関調整	設計	設計	A	
	<平和台駅周辺交通施設> 関係機関調整	検討	検討	検討	A	
	放射36号線沿道					
	<沿道周辺地区> 地区計画決定(一部)	重点地区まちづくり計画案の作成	重点地区まちづくり計画決定地区計画素案作成(一部)	重点地区まちづくり計画決定地区計画素案検討(一部)	B	合意形成活動を丁寧に進めているため。
	<氷川台駅周辺交通施設> 関係機関調整	検討	検討	検討	A	
(4)補助156号線沿道等のまちづくり	補助156号線沿道のまちづくり 重点地区まちづくり計画決定	重点地区まちづくり計画の検討区域の指定	まちづくり協議会の設立 重点地区まちづくり計画案の検討	まちづくり協議会の設立 重点地区まちづくり計画案の検討	A	
	保谷駅前地区のまちづくり 都道沿道の街並みルールの策定	都道沿道の街並み検討	都道沿道の街並みルールの策定	都道沿道の街並みルールの策定	A	
2 西武新宿線の立体化						
	立体化の促進	促進	促進	促進	A	
	鉄道付属街路等の事業着手に向けた準備	都市計画原案作成	都市計画案作成	都市計画案作成	A	
	促進協議会運営	促進協議会による要請活動	運営	運営	A	
	沿線区市とまちづくりの取組等について連携・協議	連携・協議	連携・協議	連携・協議	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
3 大江戸線の延伸						
	諸手続の促進	促進	促進	促進	A	
	促進活動	促進活動	促進活動	促進活動	A	
	大江戸線延伸推進 基金 計50億円	計43億円	7億円積立	7億円積立 (計50億円)	A	
4 みどりバス再編等による公共交通空白地域改善の推進						
	みどりバスの再編 (保谷・ 関町・大泉・南大泉 ルート)	再編に向けた調整 (保谷・大泉・南大泉 ルート)	再編に向けた 調整(保谷・大 泉・南大泉 ルート)	再編に向けた 調整(保谷・大 泉・南大泉 ルート)	A	
	みどりバスの運行 本数の一部増便	検討	検討	検討	A	
	みどりバス停留所 の新設	新設	新設	新設	A	
	既存路線バスの再 編等に向けた検討	検討	検討	検討	A	
関連する事業						
1 生活幹線道路の整備						
	生活幹線道路の 整備 事業完了 1区間 事業中 5区間					
	(1)練馬主要区道 3号線 事業区域決定 (1工区)(2工区) 用地買収(一部)	測量	事業区域決定 (1工区) 用地買収 測量 事業区域決定 (2工区)	事業区域決定 (1工区) 測量 事業区域決定 (2工区)	*	
	(2)練馬一般区道 22-101号線3工 区および練馬主 要区道39号線 用地買収(一部) 整備(一部)	用地買収 関係機関調整 設計	用地買収 整備	用地買収 整備	*	
	(3)練馬主要区道 30号線 関係機関調整	整備(一部)	関係機関調整	関係機関調整	*	
	(4)練馬主要区道 32号線 整備(一部)	整備	整備	整備	*	
	(5)練馬主要区道 56号線 用地買収 整備(一部)	用地買収 設計 整備	用地買収 整備	整備	*	
	(6)練馬主要区道 67号線 用地買収 整備(完了)	用地買収 整備	用地買収 整備	用地買収 整備	*	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
2 自転車駐車場の整備						
	自転車駐車場 整備					
	平和台駅地下	整備	整備(1,900台)	整備(1,860台)	A	
	平和台駅地上	概略設計	関係機関調整	関係機関調整	A	
	氷川台駅第九	整備	整備(500台)	整備(500台)	A	
	氷川台駅周辺	事業手法検討	事業手法検討	事業手法検討	A	
	光が丘	設計	改修整備	改修整備	A	
	自転車ラック等 改修 改修 計41か所	計33か所	7か所	7か所	A	
3 自転車レーンの整備						
	関係機関への 働きかけ・調整	働きかけ・調整	働きかけ・調整	働きかけ・調整	A	
	整備内容の検討・ 調整	検討・調整	検討・調整	検討・調整	A	
	補助132号線 期への自転車走行 空間の設置					
	補助132号線 期 への自転車走行空 間の設置					
4 無電柱化の推進						
	無電柱化 【事業完了】11路線 (延長2,841m) 【事業中】13路線	【事業完了】9路線 (延長2,161m) 【事業中】10路線				
	道路新設等に伴い無電柱化する路線					
	補助132号線 期 整備(一部)		設計 整備	設計 整備	*	
	補助135号線 (補助156号線交 差部) 事業認可 用地買収(一部)					
	補助135号線 (補助230号線交 差部) 事業認可 用地買収(一部)		事業認可 用地買収	事業認可申請 設計	*	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考	
			当初計画	実績			
	補助232号線 -2期 事業認可						
	補助235号線 整備(完了)		設計 整備	設計 整備	*		
	区画街路1号 線 設計						
	外環の2(上石 神井駅交通広場) 用地買収(一部)		用地買収		*	令和元年度は、用地買 収にかかる物件調査・補 償金積算および関係機関 との調整を実施した。	
	主要区道2号 線 (貫井・富士見台 地区A路線)【戦略 計画11-1の再掲】 用地買収(一部)		用地買収	用地買収	*(再掲)		
	主要区道3号 線 事業区域決定 用地買収(一部)		事業区域決定 用地買収	事業区域決定	*		
	主要区道32号 線 整備(一部)		整備	整備	*		
	主要区道56号 線 用地買収 整備(一部)		用地買収 整備	整備	*		
	主要区道67号 線 用地買収 整備(完了)		用地買収 整備	用地買収 整備	*		
	既存道路を無電柱化する路線						
	補助235号線 路線指定 整備(一部)		設計 路線指定	設計 路線指定	*		
	補助237号線 設計						
	補助301号線 設計 路線指定						
	主要区道6号 線(期) 整備(一部)		整備	整備	*		
	石神井公園駅 南口商店街通り の整備【戦略計画 13-5の再掲】 設計				-(再掲)		

戦略計画13 魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 西武新宿線沿線まちづくり						
(1)上石神井駅周辺地区のまちづくり	駅前のみちづくり 事業計画検討	事業手法検討	事業計画検討	事業計画検討	A	
	外環の2沿道 まちづくり 地区計画決定	事業手法検討	地区計画素案作成	地区計画素案検討	B	計画策定を丁寧に進めているため。
	交通広場の整備 【戦略計画12-1の再掲】 用地買収(一部)	事業認可設計	用地買収		* (再掲)	令和元年度は、用地買収にかかる物件調査・補償金積算、および関係機関との調整を実施した。
(2)武蔵関駅周辺地区のまちづくり	駅周辺のまちづくり 地区計画原案作成 建築物共同化検討	整備計画策定	地区計画素案検討 検討	地区計画素案検討 検討	A	
	交通広場の整備 事業着手に向けた準備 設計	都市計画原案作成	都市計画案作成	都市計画案作成	A	
	補助230号線(青梅街道～新青梅街道間) 【戦略計画12-1の再掲】 設計		関係機関調整	関係機関調整	* (再掲)	
(3)上井草駅周辺地区のまちづくり	下石神井四丁目地区のみちづくり 事業計画検討 杉並区との調整	整備計画策定 調整	事業手法検討 調整	事業手法検討 調整	A	
2 大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり						
	地区計画決定 <大泉町二丁目地区> 地区計画決定	まちづくり計画の検討	地区計画素案作成	地区計画素案検討	B	まちづくり協議会を設立し、まちづくりの方向性について丁寧に議論を進めているため。
	<大泉学園町地区> 地区計画決定	地区計画素案作成	地区計画原案作成 地区計画決定	地区計画素案作成	B	合意形成活動を丁寧に進めているため。
	<補助233号線沿道地区> 地区計画決定	重点地区まちづくり計画の検討区域の指定	重点地区まちづくり計画案の作成	重点地区まちづくり計画案の検討	B	まちづくり協議会を設立し、まちづくりの方向性について丁寧に議論を進めているため。
	(仮称)大泉学園町駅予定地周辺のまちづくり 事業計画作成	整備計画検討	事業手法検討	事業手法検討	A	
	補助135号線(補助230号線交差点部) 【戦略計画12-1の再掲】 事業認可 用地買収(一部)	測量設計	事業認可 用地買収	事業認可申請 設計	* (再掲)	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
3 地域の拠点である駅周辺のまちづくり						
(1)石神井公園駅周辺地区のまちづくり	南口西地区市街地再開発事業 事業認可	合意形成活動	都市計画素案作成	都市計画素案作成	A	
	補助132号線沿道周辺地区 地区計画変更決定	地区計画変更素案検討	地区計画変更原案作成 地区計画変更決定	地区計画変更素案作成	B	関係機関とのスケジュール調整の結果、市街地再開発事業の都市計画決定と同時に都市計画変更の決定をすることとしたため。
	商店街通りの整備 街並み整備計画の策定 無電柱化の設計	街並み整備の検討 合意形成活動	街並み整備計画案の作成	街並み整備と無電柱化の検討	B	合意形成活動を丁寧に進めているため。
	補助132号線 期 〔戦略計画12-1の再掲〕 整備(一部)	設計整備	設計整備	設計整備	* (再掲)	
	補助232号線 -2期〔戦略計画12-1の再掲〕 事業認可	関係機関調整	測量	測量	* (再掲)	
4 鉄道駅や周辺のバリアフリーの充実						
(1)駅における2ルート目のバリアフリー化された経路の確保	光が丘駅 エレベーター整備に向けた調整	鉄道事業者等との協議	協議	協議	A	
	エスカレーターの整備(完了)	検討	設計	設計		
スロープ等の整備(完了)	検討	設計	設計			
(2)公共施設と駅を結ぶルートのバリアフリー化	改善方針に基づくバリアフリー化の推進	ガイドライン策定 ルートの選定および改善方針の策定	改善方針に基づくバリアフリー化の推進 (モデル事業1地区)	改善方針に基づくバリアフリー化の推進 (モデル事業1地区)	A	
	小竹向原駅 エレベーター整備に向けた調整	鉄道事業者等との協議	協議	協議	A	
5 まちづくり条例の改正						
	まちづくり条例の改正・運用		改正・運用	改正	A	令和2年4月1日施行・運用開始

戦略計画14 練馬のみどりを未来へつなぐ

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 みどりのネットワークの形成						
(1)みどりの拠点づくりを進める長期プロジェクト	稲荷山公園 事業説明会の開催 測量	調査・検討	基本計画策定 事業スキーム 作成	基本計画策定 事業スキーム 作成	A	
	大泉井頭公園 関係機関調整	調査・検討	基本計画策定 事業スキーム 作成	基本計画策定 事業スキーム 作成	A	
(2)練馬城址公園をにぎわいの拠点に	公園整備に向けた東京都との調整	調整	調整	調整	A	
(3)特色ある公園等の整備	整備完了 6か所 新設 1か所 拡張 2か所 改修 3か所					
	新設 3か所					
	上石神井こもれび公園 (仮称上石神井三丁目公園)	用地買収 設計	整備	整備	A	
	(仮称)石神井台六丁目緑地					
	(仮称)大泉学園町六丁目公園					
	拡張 5か所					
	大泉学園町希望が丘公園	設計	設計 整備	設計 整備	A	
	こどもの森緑地		事業認可 用地買収 設計	事業認可 用地買収 設計	A	
	こぐれの森緑地					
	北原公園					
	石神井松の風文化公園					
	改修 4か所					
	四季の香公園 (西欧庭園区域) 四季の香ローズガーデン拡充	事業認可 設計	設計	設計	A	
	田柄川緑道 (放射35号線交差点部)		設計	設計	A	
	和田堀緑道					
豊玉中いっちょうめ公園	設計	整備	整備	A		
(4)都市インフラの整備におけるみどりの創出	都市インフラの整備に合わせたみどりの創出	関係機関への働きかけ・調整 ・放射35・36号線 ・外環の2 など ・石神井川河川改修	働きかけ・調整	働きかけ・調整	A	
		整備内容の検討・調整 ・主要区道67号線 ・区画街路1号線	検討・調整 ・補助235号線 ・主要区道56号線	検討・調整 ・補助235号線 ・主要区道56号線	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
(5)重要な樹林地の保全	合意形成活動 都市計画決定 計7か所	合意形成活動 計3か所	合意形成活動 1か所	合意形成活動 1か所	A	
(6)みどりの美しい街並みづくり	緑化取組 計15か所	計10か所	1か所	1か所	A	
	サクラ並木の維持 外観診断183本 精密診断55本 更新 計63本	更新 計48本	外観診断183本 精密診断55本 5本	外観診断203本 精密診断61本 更新13本	A+	樹木診断結果により、不健全との判定を受けた樹木を早急に更新したため。

2 みどりを育むムーブメントの輪を広げる

	テーマ別 みどりの区民会議	開催	開催	開催	A	
	個人のみどりを地域で守る仕組みの構築	事業内容の検討	モデル事業実施	モデル事業実施	A	
	公園の区民管理の拡充 区民管理 23団体・31か所	関係団体への働きかけ 区民管理 20団体・27か所	働きかけ 区民管理開始 2団体・3か所	働きかけ 区民管理開始 2団体・3か所	A	
	憩いの森の区民管理の拡充 区民管理2か所	育成事業2か所	育成事業2か所	区民管理開始 1か所 育成事業1か所	A+	南高松憩いの森の育成事業について、当初の予定を1年前倒して区民管理を開始したため。
	みどりを守り育てる人材や団体の育成、マッチング		仕組みの構築	仕組みの構築	A	
	新たな基金の運用	仕組み構築 募集メニューの検討	寄付募集	寄付募集	A	

戦略計画15 住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		

1 自立分散型エネルギー社会に向けた取組の推進

	避難拠点でのEV(電気自動車)等の活用 「災害時協力登録車制度」登録者増	「災害時協力登録車制度」の創設 EV販売事業者と「災害時における電気自動車からの電力供給の協力に関する協定」締結	周知	周知	A	
	EVを活用した訓練の実施		実施	実施	A	
	全ての医療救護所にV2Lを配備 計10か所	計7か所	3か所	3か所	A	
	区立小中学校(避難拠点)への太陽光発電設備等の導入 計14か所	計12か所				
	地域コジェネレーションの導入 順天堂練馬病院に導入 練馬光が丘病院に導入	基本協定締結 調整	導入準備 基本協定締結	導入準備 基本協定締結	A	

いきいきと心豊かに暮らせるまち

戦略計画16 地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考	
			当初計画	実績			
1 創業への総合的な支援の充実							
	創業セミナー・創業支援融資の実施	創業セミナーの実施	実施	実施	A		
		創業支援融資の実施	実施	実施	A		
	学生向け創業セミナー等の実施		学生向け創業セミナー等の開始	中止	B		令和2年3月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
	空き店舗入居促進事業の実施	空き店舗入居促進事業の実施	実施	実施	A		
2 販路拡大など企業活動の活性化							
	企業間交流の活性化、販路拡大支援の実施	産業見本市の実施	実施	実施	A		
		商談交流会の開始	実施	中止	B		令和2年3月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
	産学連携セミナーの実施		産学連携セミナーの開始	産学連携セミナーの開始	A		
	福祉・生活関連産業への支援の実施	セミナー・個別相談会の実施	実施	実施	A		
		専門アドバイザー派遣の開始	実施	実施	A		
	事業承継支援の実施	セミナー・個別相談会の実施	実施	実施	A		
専門アドバイザー派遣の開始		実施	実施	A			
3 商店街や個店の魅力づくり							
	お客が集まる個店づくり						
	まちゼミ支援の実施	実施	実施	実施	A		
	個店連携支援の実施	実施	実施	実施	A		
	店舗改修支援の実施	実施	実施	実施	A		
	特色ある取組を行う商店街への支援の実施	実施	実施	実施	A		
	商店街の魅力発信支援事業の実施	開始	実施	実施	A		

戦略計画17 生きた農と共存する都市農業のまち練馬

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 世界都市農業サミットの開催						
	世界都市農業サミット開催	イベント開催	世界都市農業サミット開催	世界都市農業サミット開催	A	
2 都市農地の保全に向けた取組の推進						
	生産緑地貸借制度を活用した農地保全	農地所有者意向調査の実施 農地幹旋の仕組みの検討	農地幹旋の開始	農地幹旋の開始	A	
	特定生産緑地の周知・指定	周知・調整	周知・調整	周知・調整	A	
	農地を守る新たな仕組みづくりの検討		調査・検討	調査・検討	A	
	制度改正に向けた取組の推進	要望・実現	国への要望活動	国への要望活動	A	
3 都市農業経営の支援						
	認定農業者・都市型認定農業者の新規認定 31経営体	22経営体	3経営体	4経営体	A+	農業委員会だよりでの周知等により制度内容が浸透してきた結果、認定を希望する農業者が想定よりも多くなったため。
	認定農業者・都市型認定農業者への支援の充実		検討	検討	A	
	生産緑地貸借制度を活用した農地保全【戦略計画17-2の再掲】	農地所有者意向調査の実施 農地幹旋の仕組みの検討	農地幹旋の開始	農地幹旋の開始	A (再掲)	
	農の学校 コース内容の見直し	4コース運営	検討	検討	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
4 区民が農に親しむ取組の充実						
	(仮称)農の風景公園の整備	基本構想策定	設計	設計	A	
新鮮な農作物を手に入れる、農を気軽に体験できる環境整備						
	区主催マルシェ実施	実施	ワールドマルシェ実施	ねりマルシェin世界都市農業サミット実施	A	
	農業者等主催マルシェの支援実施場所3か所増	10か所実施	1か所増	1か所増	A	
	練馬果樹あるファームの開設等支援 17件 情報発信	摘み取り園38園 直売所 51か所 実施	7件 充実	11件 充実	A+	農業者に対し、JAを通して積極的な働きかけを行った結果、当初の想定を超えた支援希望があったため。
	生産緑地の貸借制度等を活用した区民農園の整備 2園整備	整備方針の検討	整備方針の策定 1園整備	整備方針の検討 1園整備	A	整備方針は引き続き検討する。
農と福祉の連携						
	農福連携作業に携わる障害者施設数計9施設【戦略計画7-7の再掲】	計6施設	1施設増	1施設増	A (再掲)	
	福祉連携農園の検討【戦略計画7-7の再掲】		検討	検討	A (再掲)	
	農を活用した高齢者の健康づくり		検討	検討	A	
戦略計画18 練馬ならではの都市文化を楽しめるまち						
取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 練馬独自の新しい美術館の創造						
	再整備基本構想に基づく設計	構想の検討	構想の策定	構想の検討(委員会提言)	B	区立美術館には貫井図書館が併設されており、「これからの図書館構想」の検討結果を美術館再整備基本構想に反映させるため、策定期間を延期した。

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
2 四季を感じ、誰もが楽しめる年中行事を開催						
	四季を感じられる イベントの開催	真夏の音楽会の 実施	実施	実施	A	
		花火フェスタの実施	実施	実施	A	
		練馬薪能の実施	実施	実施	A	
		Nerimaユニバーサル コンサートの 実施	実施	実施	A	
	区民自らが参加 して楽しむ事業の 実施	郷土芸能ねりま座 の実施	実施	実施	A	
		ジャズイベントの 実施	実施	実施	A	
		こどもアートアドベン チャーの実施	実施	実施	A	
		区民文化祭の実施	実施	実施	A	
3 ねりまの歴史を活かした映像文化のまちづくり						
	「映像文化のまち 構想」策定 映像文化イベントの 実施	検討	構想の策定 映像文化イベン トの実施	素案の公表 検討	B	・美術館再整備基本構想 とこれからの図書館構想 の内容に合わせるため。 ・構想の策定期間を延期し たことにより、映像文化イ ベントを実施しなかったた め。
4 練馬の魅力を効果的に発信						
練馬の魅力を発信	世界都市農業 サミットイベント 開催【戦略計画17- 1の再掲】	世界都市農業 サミット開催	世界都市農業 サミット開催	A (再掲)		
	体験型ツアーの 実施	充実	充実	A		
	新たな情報マップの 作成	充実	充実	A		
無料公衆無線LAN の整備 計32か所	計4か所	28か所増	28か所増	A		

戦略計画19 豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 練馬区初 公認陸上競技場「練馬総合運動場公園」						
	練馬総合運動場公園での事業展開	開園式典、記念イベント開催	公認記録会の開催	公認記録会の開催	A	
2 区民ニーズを踏まえたスポーツ施設の整備						
	大泉さくら運動公園庭球場等 整備	設計	整備	整備	A	
	大泉学園町希望が丘公園運動場(第 期) 整備	設計	設計 整備	設計 整備	A	
総合体育館						
	改築に向けた検討	検討	検討	検討	*	現在地以外への移転も含め、様々な可能性について検討が必要なため。
	空調機の設置		設置	設置	A	
	光が丘体育館 アリーナ床等改修	検討	設計	設計	A	
3 ユニバーサルスポーツフェスティバルの充実						
	ユニバーサルスポーツフェスティバルの地域展開 計6か所	計3か所	1か所増	0か所	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、新規会場での開催を中止したため。
	障害者スポーツ指導員の確保・育成	検討・一部実施	実施	実施	A	
4 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組						
区民や関係団体との協働による取組						
	関係団体との情報共有・意見交換	実施	実施	実施	A	
	応援プログラムへの参加促進	実施	実施	実施	A	
	練馬区発100万人のハンドスタンプアートプロジェクトの実施	開始	実施 (第1弾の公表・活用)	実施 (第1弾の公表・活用)	A	
効果的な機運醸成事業の実施						
	注目を集めるタイミングに合わせた事業実施	2年前事業 500日前事業	1年前事業 世界都市農業サミット運動事業	1年前事業 世界都市農業サミット運動事業	A	
	集客が見込める既存イベントでの出展	実施	実施	実施	A	

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
各施策の充実と連動させた機運醸成の取組						
	ユニバーサルスポーツフェスティバルの地域展開計6か所【戦略計画19-3の再掲】	計3か所	1か所増	0か所	B (再掲)	新型コロナウイルス感染症の影響により、新規会場での開催を中止したため。
	世界都市農業サミット開催【戦略計画17-1の再掲】	イベント開催	世界都市農業サミット開催	世界都市農業サミット開催	A (再掲)	
	ねりまワールドフェスティバルの実施	国際交流のつどいワールドマーケット実施	ねりまワールドフェスティバルの実施	ねりまワールドフェスティバルの実施	A	

区民とともに区政を進める

戦略計画20 区民協働による住民自治の創造

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の現況	令和元年度		進捗状況	備考
			当初計画	実績		
1 町会・自治会の活性化						
	町会・自治会組織の基盤強化	加入促進活動の実施	実施	実施	A	
2 協働の取組の活性化						
(1)相談情報ひろばの増設	相談情報ひろば計14か所	計10か所	4か所開設	開設無し	B	事業のあり方について検討を継続しており、新規のひろば開設を見送ったため。
(2)パワーアップカレッジねりまのリニューアル	パワーアップカレッジねりまのリニューアル	開始準備	開始準備	開始準備	A	
3 地域おこしプロジェクトの充実						
	地域おこしプロジェクトの支援内容の充実	検討	検討	検討	A	

戦略計画21 窓口から区役所を変える

取組名	令和3年度目標	平成30年度末の 現況	令和元年度		進捗状況	備考	
			当初計画	実績			
1 窓口から区役所を変える							
(1)「待たない」	区役所に行かなくても、自宅や近所で手続きができます						
	(ア)電子申請の拡大	乳幼児一時預かり事業 インターネット予約システム運用開始 【戦略計画1-1の再掲】	検討	構築	構築	A (再掲)	
		保育園入園申請のオンライン手続きの導入 検討【戦略計画1-8の再掲】	検討	検討	検討	A (再掲)	
		全庁的な電子申請の推進	調査・検討	実施	実施	A	
	(イ)電子決済方法の多様化	システム改修 (住民税・軽自動車税)	運用開始 (住民税・軽自動車税)	運用開始 (住民税・軽自動車税)	A		
	来庁前に、窓口の混雑状況が分かり、事前に準備ができます						
		窓口情報提供システムの拡大 計17か所	1か所 (保育課入園相談係)	16か所導入 (練馬区民事務所ほか)	16か所導入 (練馬区民事務所ほか)	A	
		自宅で印刷できる申請書類の範囲拡大		実施	実施	A	
	(2)「まごつかない」案内が正確・迅速に行われます	フロアマネージャーのサービス内容の充実 (区民事務所6か所)	検討	充実	充実	A	
		フロアマネージャーの常時配置 (区民事務所3か所)	2か所 (練馬・石神井区民事務所)	1か所 (光が丘区民事務所)	1か所 (光が丘区民事務所)	A	
FAQの職員活用		検討	開始	開始	A		
窓口対応力向上研修の充実			充実	充実	A		
(3)「何度も書かない」複数の申請書が一括して作成できます	申請書一括作成システムの導入 (区民事務所6か所)	検討	構築	構築	A		
(4)事務処理ミスの防止	事務処理の見直し	検討	実施	実施	A		

参考

第2次みどりの風吹くまちビジョンとSDGs

SDGsとは、平成27年（2015年）9月の国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略であり、令和12（2030）年を年限とする国際目標です。SDGsは、持続可能な世界を実現するための17のゴールから構成され、先進国を含む全ての国々の共通目標となっています。

国は、地方自治体に対し、SDGsを原動力とした地方創生の推進を求めており、区としては、第2次みどりの風吹くまちビジョンを中心にあらゆる施策を通して取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs に掲げる 17 のゴール

 <p>1 貧困をなくそう</p>	<p>1 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。</p>
 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>2 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p>



10 人や国の不平等をなくそう
各国内及び各国間の不平等を是正する。



11 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。



12 つくる責任つかう責任
持続可能な生産消費形態を確保する。



13 気候変動に具体的な対策を
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。



14 海の豊かさを守ろう
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。



15 陸の豊かさも守ろう
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。



16 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。



17 パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。